

新年祝い 振る舞い餅

沖縄市一番街商店街



掛け声に合わせて餅をつく沖縄市一番街商店街振興組合の関係者7日午前11時、沖縄市中央の一番街



沖縄市一番街商店街振興組合(親川剛理事長)は7日午前、市中央の同商店街内で「新春もちつき大会」を開いた。多くの店主らが赤いはつぴを身にまとい、「いち、に」の掛け声とともに餅をついた。

大会は昨年に続いて2回目の開催。10キロもち米を組合婦人部のメンバーらが用意し、200人分の餅が振る舞われた。崎浜澄子さん(56)は「手作りの餅を用意できてよかった。新年の門出をみんなで祝いたい」と笑顔を見せた。

